

丸山湿原群保全の会会報

(第 191 号)

発行日：2023 年 (R5) 6 月 21 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788

090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail:maruyamashitugengun@gmail.com

保全の会 HP・blog

戦争は最大の環境破壊と差別を生み出します！

先日新聞で「エコサイド」という言葉を目にしました。いったい何の事だろうと見てみると、「エコロジー＝生態系・環境」と「ジェノサイド＝集団殺害」を合わせた造語のようです。「ジェノサイド」自体が「ユダヤ民族虐殺＝ホロコースト」から生まれた言葉だそうで、少々なじみのない言葉ですが、国際法として「エコサイド」を禁止する動きがヨーロッパを中心に起こっているようです。

大規模な環境破壊を国際法で禁止。「地球温暖化」「マイクロプラスチック問題」「森林破壊」「鉱物資源の採掘」その他いろいろ…人類の今の生活にかかわることすべてが「エコサイド」になるのかもしれませんが。最も分かりやすいのがベトナム戦争でアメリカが撒いた「枯葉剤」。深刻なダイオキシン問題を引き起こしました。これは分かりやすい。

今回新聞に書かれていた「エコサイド」は、「ウクライナ戦争」のダム（カホウカ・ダム）の破壊。もともと人が作ったものなので破壊によって自然に還る？とも考えられますが、このダムから生まれた生態系が破壊され砂漠化するのでは、と書かれていました。人が建設したダムが、豊かな生態系を生み出していた？日本の里地里山に近い？日本にも豊かな生態系を育むダム湖があるよな。戦争自体が「エコサイド」とも思うのですが。

とにかく戦争が一番の原因。最も大きな環境破壊、命も奪い分断という最大の差別も生み出します。なぜ同じ地球人（生物）とはなれないのでしょうか？私も「あなたはどこの国の人ですか」とよく聞いているような…永遠の課題か？ (今住 6 月 18 日作成)

小学校環境学習 ★5月26日(金) 座学(事前学習)

今年も西谷小学校の環境学習がスタートしました。昨年も書きましたが、児童の数が少なくなり、複式学級での活動となっています。つまり昨年同様 3 年と 4 年の学級です。複式学級の様子は小学校の HP 参照。

https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/school/e_nisitani/6005195/6008540.html



始まりはオオキンケイギクの話から (三田市香下)

4 年生は 2 回目の学習となります。ずいぶん成長した姿が印象的でした。昨年へびやカエル、昆虫をスライドで見せると「嫌い！」と顔をそむける児童が多数。(現在の 5 年生は逆に食いついていましたが…)ところが 4 年生になった彼らは目を生き生き？とさせて「カエルがヤマカガシに食べられる」スライドを見ているではありませんか。「本当の虫嫌い」が始まるのもこの時期か？5 年生が「虫きらい、きもーい」なんて言っているかも…まーこれはこれで仕方がないことではあります。



後ろは4年生（複式学級）

いていますので事前に「延びま〜〜す！」と連絡済み。ちゃんと子どもたちの気持ちを考えて6校時の「教科」学習をほぼつぶしました。多分感謝されているのでは？保護者の皆さんからはクレーム？…ま〜よろしい。無いとは思いますが。

シカの「角合わせ」の迫力ある映像（自画自賛）や角でわかる「年齢」など動画を見ながらとっても丁寧に説明させていただきました。ホンマかいな？シカはフィールド学習時には見られないけどね（多分）。出会ったらそれはそれでちとやばい。

運動会？バス？などの関係で次回のフィールドは6月末。さて何がいるのでしょうか？ハッチョウトンボは多分見られるな…楽しみです。

今回は初めての金曜午後の時間設定。給食の後のスライドとお話。「夢うつつ」の世界が広がるのではと危惧？期待？していたのですが、意外や意外、とても意欲的にお話に乗ってくれました。新しく転任された教頭先生も長時間お付き合いくださいました。。うれしいですね。

内容はと言うと、申し訳ないですが毎年の「焼き直し」。もちろん新ネタの動画を多数組み入れて、より「飽きない」内容にしたつもりですが…受ける側はどうか？時間は5校時（一枠）のみのはずが、いつも「伸び伸び話」をさせていただ



スライドで紹介した牡鹿の動画

定期活動 ★5月28日（日） 第1 湿原北分岐付近ササ刈り。10名（里大OB 助っ人1名）

いや〜ありがたい。集合場所に行ってみると見たことある人が会員に交じっておられます。記憶力の低下が著しい私は「誰？だれ？だーれー？」状態。顔には確かに見覚えが。失礼ながらお尋ねすると里山大学 OB で協働活動にも参加していただいた方でした。助っ人参上して下さったのです。奇特な方です。これはまじめにやらないと後々の評判にかかわると決意。



ヤマボウシ 今年は当たり年

この時期は湿原内立ち入り NG なので、駐車場からすぐの平場の整理をよくやっていました。しかし今回はギフチョウの食草（ヒメカンアオイ）及び幼虫保護を考え、第1 湿原北分岐（第3との境ね）付近のササ刈りを実施しました。なかなか手が付けられず、ササの高さは2m近くなっています。刈り払い機と手刈りでどこまで行けるやら、不安を抱えつつの作業です。そこに里大OBさん。プレッシャーやわ〜。いつもより言葉少ないスタートになりました。かな？

たどり着くまでに植物を観察。まず目に入ってきたのがヤマボウシ（山法師）。最近是在来種が街路樹として多く使われていて、西谷の森公園までの道にも植樹されています。これも美しい。しかし山の中にある自然そのもののヤマボウシはもっと美しく見える。不思議です。一瞬「息をのむ」感覚です。「木が真っ白」。

溜息をついている場合ではありません、先に進まなければ。ウツギ（空木＝卯の花）もたくさん咲いています。思わず「♪う〜の花〜の匂う垣根に、ほーととぎ〜す…♪」と口ずさんでしまいます。最近知らない人が多い歌となってしまいましたが…。先に進まねば。南分岐付近橋近くに



ミッキーマウスのような葉 下には花が

アリマウマノスズクサ 5月31日同一個体
でトイレにしか置けません) うっとりのひと時。先に進まねば。

すると今度は地面から何やら紫色のさざ波が。**シソバタツナミ**(紫蘇葉立浪)です。タツナミソウの仲間の標準和名は「~タツナミ」で切ったり「~タツナミソウ」まであったりややこしい。種類も多い。ま~そんなに神経質にならなくてもいいのかもしれませんが、全部「~タツナミソウ」にしてほしい。可愛いだけに。ちなみに「タツナミ=立浪」は北斎の「神奈川冲浪裏」から命名されたという説も。うまく命名するもんですね。今話題の「×榎野万太郎」「○牧野富太郎」かどうかは知りません。先に進まねば…



えっ?ここをやるんですか?

クリアーな場所となりました。ノコギリガマで刈って、集めて、運んで…ご苦労様でした。

作業中にも産卵を終えた?シュレーゲルアオガエル(シュレーゲル青蛙)が現れほっこりした瞬間も。そうそう、確認しておきますが、足に吸盤のあるカエル

行くと。今度はミッキーマウスがほほ笑みかけてきました。なんとサキソフォンを片手に。**アリマウマノスズクサ**(有馬馬の鈴草)です。ジャコウアゲハの食草で毒がありますが、とても可愛くて花も面白い形をしています。ジャコウアゲハをよく見るということはこの蔓植物がたくさんあるはずなんですが、なかなか見つからない。花に至っては滅多に出会えるものではありません。不思議です。ササユリが咲き始めるまで気付かないのと同じか?ササユリは花が目立つが、アリマウマノスズクサは花も目立たない。だから見つけにくいのでしょうか。咲くちょっと手前の花でした。咲いたところを見に来ようと密かに誓ったのでした。先に進まねば。ところが顔を上げると**コアジサイ**(小紫陽花)が満開ではありませんか。萼がなく花のみの清楚なアジサイですが、香りはピカイチ。トイレに飾れば言うことなし。(うちの場合…猫が触るので)



コアジサイ いい香りです



シソバタツナミ 浪(波)立ってます

さあ着いた。この一角だけはなぜかササを放置していました。見て見ぬふり。シカの侵入を防ぐためという噂は…ないな。歩道のすぐ横なのに。刈り取りに入ろうとして愕然!壁です。どこから手を付けるか考えること数秒。こんな時は目の前から何も考えずにやるのが一番。仕事が多くて混乱しているときにとりあえず目の前のことを片付けるのとおんなじか。知らんけど…。手刈りの作業部隊はもう始めています。刈り払い機にはツムラの山林用チップソー。(知っている人は知っている高いやつ。宝塚市さんありがとう。)負けるはずがない!やってみる。出来るがな。ということで丈の高さには手こずりましたが、何とか



だんだんすっきりしてきました!



素晴らしい！よく頑張った クリアーです

う～んこれは美味しい！ウグイスカグラの実
知る、これが第一歩かな。興味がなければ知る気も起こりませんが。興味は何から生まれるのでしょうか？不思議だ～。

はツリーフロッグといって基本、木の上が生活圏です。モリアオガエルも。丸山にはいませんがカジカガエルも然り。基本繁殖期にのみ水に入ります。カエル＝水辺の意識は取り払いましょ。

今回は助っ人の里大 OB さんに見栄が張れたかな？なんの意味もありませんが…。しかしこの日はみんな真面目。(いつも?) 短時間でしたが成果を感じられた作業でした。

帰り道も周りの様子を観察。4 月末に咲いていたウグイスカグラ(鶯神楽)が赤い実をつけていました。つまんでいただきました。とっても美味しい！すぐ鳥に食べられるか、時期が合わないかでなかなか食べることができない実です。食べる人も少ないか。今は野生のものを食べることを躊躇する人が多いですよ。ね。毒？もありますがせっかくなのにもったいない。自然をよく



シュレーゲルアオガエルもびっくり

定期活動 ★6月10日(土) 基礎調査 観察 ゴミ回収 7名で活動

目的	市内	市外
丸山湿原	52	80
登山・ハイキング	40	74
散歩	12	10

来場者数計 268 人
(竹筒ポスト集計)

場所	時間	気温【水温】	電気伝導 (EC)	PH
入口	10:05	21.5℃		
第3湿原	10:40	【20.9】	30.8 μS/cm	6.8
視点場	11:00	23.0℃	30.1 μS/cm	5.8
第1湿原	11:15	【23.5℃】	?6.8 μS/cm	6.3
第2湿原	11:40	【21.2℃】	?14.8 μS/cm	6.3

マスコミで紹介(5月25日NHK神戸)されたのでもう少しポスト人数が増えるかと思いましたが、意外に伸びず。ただ、市外からの訪問者の数が随分増えました。これはTVの力か？

調査データですが、第1湿原と第2湿原のEC数値がどうもおかしい。ECが雨水以下になる？不思議な現象です。機材トラブルの可能性大。機材チェックします。今回は上がってきたデータをそのまま記載します。



歩く姿は…6月12日玉瀬地内

らはめでたい？コバノトンボソウもそろそろか？

ハッチョウトンボがたくさん見られました。それと丸山だけではないですが、今年はササユリ(笹百合)が多いような気がします。天候との関係もあるのでしょうか。「西谷の森公園」～「丸山湿原駐車場」の道脇でも結構見られます。なぜか突然消えますがね。なんの仕業かは不明。ご想像にお任せします。第4湿原のトキソウへの道はやはり誕生していました。残念！カキラン(柿蘭)はあちこちに。地域、全体的に増えているような気がします。こちら

次回活動日 6月25日(日) 午前作業・午後総会 7月8日(土) 23日(日) 8月12日(土)